

■産官学連携等

◇ 産官学連携

事業・活動等の名称	関わっている学部・研究科名	共同で行っている事業者の名称	時期(期間)	事業・活動等の概要
「健康力・関係力を通して生活習慣病を防ぐ」	栄養学部	独立行政法人 国立女性教育会館	東日本大震災のため22年度開催分は23年9月に延期	平成18年1月連携協定を結ぶ共催事業の企画・実施協力、講師派遣等
坂戸市葉酸プロジェクト	栄養学部・栄養学研究科	坂戸市	平成18年～	平成18年10月に市民の健康づくりに関する連携協力協定を結ぶ(市内3大学合同)・平成18年にプロジェクト発足、葉酸入カレー・うどん・パン・醤油など商品化
消費者の心をつかむフードマーケティングとは	栄養学部	埼玉りそな産業経済振興財団・株式会社埼玉りそな銀行	平成23年11月30日	平成18年10月連携協定の覚書締結埼玉りそな銀行の取引企業向け講演会開催。本学紹介、産学連携事例紹介、参加企業との懇親会を行う。
セミナー 「選手の健康管理(スポーツ栄養)とスポーツ障害の予防」 若葉祭出展	栄養学部	株式会社コナミスポーツ&ライフ	セミナー 平成22年11月～23年1月 若葉祭出展 平成22年5月	平成19年7月健康維持増進分野における協力体制構築に関して基本合意書を結ぶ。高校生マネージャー・アスリートのためのセミナーを共同開催(平成22年11月～23年1月 5会場)および保健栄養学科栄養科学専攻スポーツライフサイエンスでの協力など包括的に連携 若葉祭で、スポーツ体験等実施。
学食メニューのレシピカード化 「和食バランス弁当」のメニュー開発 我が家自慢の夏井コンテスト	栄養学部	株式会社ベルク	平成19年～レシピカード 平成20年～弁当開発 平成22年6月夏井コンテスト	平成19年7月に連携協力の覚書を交わす。学食メニューをレシピカード化し店頭で配布、また「春の和食バランス弁当」のメニュー開発の協力(株)ベルクが主催したコンテストに共催。坂戸校舎にて決勝大会が行われた。応募総数553件、決勝には5人が選出されテレビ放映もされた。各店舗・HPでレシピが発表される。

産官学連携等

豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定締結	栄養学部二部 短期大学部	豊島区	平成 24 年度	平成 19 年 11 月に締結。「人づくり・活動づくり・地域づくりのための総合的な学びの場」を基本コンセプトに「豊島コミュニティ大学」が発足。平成 24 年度は 3 講座を実施
若葉祭出展	栄養学部	財団法人 新潟観光 コンベンション協会	平成 20 年 5 月	若葉祭で、味噌・醤油など特産物の販売
「あきたゼミ」開催	栄養学部 短期大学部	秋田県	平成 22～24 年度	平成 20 年 8 月秋田県と「食と健康に関する連携協定書」を締結。「あきた郷土料理教室」(H20・21 年度)を駒込で開催。秋田県内へ講師派遣並びに、学内での秋田県派遣講師による学生対象の講座(H22～24 年度)を開催。その他「比内地鶏」メニュー開発(H22 年度)や、県立高校(雄物川・秋田北)アスリートへの栄養サポート(H23 年度～)でも協力。秋田県産食材の産地を見学後、学生が県産食材を使用したメニューを開発(H28 年度)。
「ビタミンラ」の需要促進と販売促進	栄養学部	(株)山水食品	平成 20 年 11 月～	販売促進のため、リーフレット・HP・テレビ通販等のメディアへの協力等。
健康管理プログラム等に関する連携	栄養学部	(株)グリーンハウス	平成 21 年 1 月～	平成 21 年 1 月協定を締結。健康管理プログラム「アスケン」・健康関連食品開発・食品分析データ、メニューデータの提供等
葉酸に関する産学連携協力	栄養学部	(株)日清製粉本社 グループ	平成 21 年 4 月～	平成 21 年 3 月協定書を締結。葉酸を強化した穀類加工食品の実用化に関する技術・関連情報の提供、アドバイス。葉酸が人の健康に及ぼす効果・効能に関する情報提供・アドバイス等。
バランスお弁当の開発	短期大学部	(株)イトーヨーカ 堂	平成 21 年 6 月～ 平成 25 年 2 月	平成 21 年 9 月委託契約締結。バランス弁当・ヘルシー弁当を毎月 2 アイテム開発する。

産官学連携等

葉酸米開発に関する産学連携	栄養学部	ハウスウェルネスフーズ(株)	平成 22 年 3 月	平成 21 年から香川靖雄副学長を中心に葉酸米の共同開発を進めてきた。平成 22 年 3 月完成し、販売を機に産学連携協定を結び普及に努める。
つみれ類商品の共同開発	栄養学部	日本ピュアーフード(株)	平成 22 年 6 月	平成 22 年秋から全国量販店で展開するつみれ類商品を開発し 6 月に完成した。
酪農体験の実施 若葉祭出展	栄養学部	埼玉県農業大学校	平成 23 年度～	平成 22(2010)年 5 月、埼玉県農業大学校と女子栄養大学は、相互の学生教育を充実させること、食育の一層の推進とともに、農業教育の振興を図ることを目的とし、連携協定を締結した。今後、商品開発等の共同研究、学生交流を推進する。
学生交流に関する連携	栄養学部	ソウル国立大学生生活科学部	平成 22 年 6 月	平成 22(2010)年、ソウル国立大学生生活科学部と女子栄養大学は、学生交流に関する連携を締結。1 年間に双方 1 名の交換プログラムを行う。受入れ側の学費(入学検定料、授業料含む)は相互免除。本学の受入れ学生の身分は外国人特別研究生となる。
①全国高校生食育王選手権大会へ協力 ②「福井ランチ」フェア開催	栄養学部 短期大学部	福井県	①平成 20 年 11 月～ ②平成 22 年～	平成 22(2010)年 10 月、福井県と「人の交流」「情報の交流」を通じた食と健康に関する提携協力協定を締結。知事講演会をはじめ、カフェテリアにて「福井ランチ」フェア(H22～27 年度)を開催。福井県派遣講師による福井食材を用いた授業(H22～24 年度)も開催。全国高校生食育王選手権大会(第 2 回:H20 年度)より、審査員長として協力。「福井県バー」の商品開発(H24 年度)にも協力。
埼玉県高校教員対象の連携講座を開催	栄養学部	埼玉県教育委員会	平成 23 年～	平成 23 年 5 月埼玉県教育委員会と連携を締結。連携講座「実践的職業教育推進プロジェクト: サービス力育成分野・教員向け講座」を開催。埼玉県教育委員会主催「アイデア弁当コンテスト」に共催、審査員として協力。

産官学連携等

大学間交流に関する合意	栄養学部	マヒドン大学公衆衛生学部（タイ国）	平成 23 年 1 月	栄養、およびこれに関連した健康科学分野における教職員および学生の相互交流など、大学間の相互協力を推進。
共同研究・教育協力への連携	栄養学部	埼玉医科大学	平成 24 年 1 月	平成 23 年 9 月連携協力の包括的協定を締結。すでに教育・研究で共同・協力的に実施をしており、今後も本学出版物への執筆協力など、連携強化を期待している。 H25 年度大学入試センター試験を共同実施。
食・健康等に関する包括的な連携	栄養学部	埼玉県	平成 23 年 11 月	平成 23 年 11 月相互協力・連携に関する協定を締結。健康・福祉や農林業などの分野において、包括的、組織的な協力関係を深め、連携を進める。さいたま国際マラソン開催に伴い、『ランナーのための大会直前 1 週間メニュー』（H27）、サッカー部員のための『アスリート食』（H28）の冊子制作に協力。
サラダメニューの開発	栄養学部 短期大学部	イオン株式会社	平成 24 年 4 月	平成 24 年 4 月産学連携・業務委託契約を締結。サラダメニュー10種の開発、他お弁当の商品開発等。
「食育ショップ」の開催	栄養学部	川越総合卸売市場株式会社	平成 24 年 4 月	平成 24 年 4 月包括的連携を締結。旬の食材を使用した「食育ショップ」を毎月第 2 土曜日に開催。
麺類メニューの開発	短期大学部	東京都麺類生活衛生同業組合	平成 25 年 2 月	平成 25 年 2 月包括的産学連携協定を締結。サラリーマン向け・若い女性向け・シニア向けの 3 種類 6 メニューを開発。都内の組合員店舗で販売する。
包括的な連携	栄養学部	鶴ヶ島市	平成 25 年 5 月	食と健康・福祉の推進に関すること」「地域の活性化及び産業の振興に関すること」「環境の保全・創造に関すること」「教育、文化、生涯学習及びスポーツの振興に関すること」「人材の育成に関すること」等について、これまでも様々な取り組みを行ってきた同市との連携をさらに強化。

相互協力・連携に関する協定	栄養学部 短期大学部	孺恋村	平成 25 年 7 月	①孺恋村と大学の人的・知的資源の交流 ②孺恋村と大学の協働による調査研究及び事業の実施 ③孺恋村主催又は大学主催の事業に対する相互の協力・支援 ④その他両者が協議して必要と認める事項等に関し締結するもので、同村の地域活性及び村民の健康づくりを支援するとともに、同大主催の事業に参加し、相互の交流及び発展を図ることを目的とする。孺恋ランチ(キャベツを使用したメニュー)を実施。つまごい祭りに出店協力。
産学連携包括協力に関する協定	栄養学部 短期大学部	株式会社プロントコーポレーション	平成 25 年 10 月	「正しい食の知識を広め、食育を通じて豊かな食文化を形成し、社会に貢献する」そして「人々のくつろぎの場、憩いの場を提供する」という本学、同社の願い を実現し、多くの人の健康に寄与することを目的としている。2013 年 11 月より、同社店舗にて共同開発のパスタを販売。
相互協力・連携に関する協定	栄養学部 短期大学部	久米島町	平成 25 年 11 月	①久米島町と大学の人的・知的資源の交流、②久米島町と大学の協働による調査研究及び事業の実施、③久米島町主催又は大学主催の事業に対する相互の協力・支援、④その他両者が協議して必要と認める事項等に関し締結。これまでも、同町での調査・研究活動を行ってきており、今後、より踏み込んだ形での調査・研究活動の実施他、同町の地域活性及び町民の健康づくりを支援することを目的とする。
食と健康に関する連携協定	栄養学部 短期大学部	香川県	平成 25 年 11 月	食と健康を通じ、お互いの有する人的・物的・知的資源を連携・協力して活用し、相互の活動の進展と地域社会の発展に役立てていくことを目的とする。若葉祭、駒込祭にも出展。

産官学連携等

相互協力・連携に関する協定	栄養学部	富士見市	平成 26 年 2 月	平成 27 年度開設予定「(仮称) ふじみ野出張所等多目的公共施設」に設置する「食育推進室」の設計や運営のアドバイス他、「食育推進」「健康増進」「地産地消」「スポーツ推進」「産業振興」等について連携を図り、魅力あるまちづくり、市民の健康維持・増進を図る。地場産物を使用した和菓子の開発に学生が協力、市内 3 店舗で販売 (H27)。
連携協力に関する包括協定	栄養学部 短期大学部	北区 (東京都)	平成 26 年 3 月	「食育推進」「健康増進」等について連携を強化し、区民の健康維持・増進に関する取り組みを進める。
産学連携包括協力に関する協定	栄養学部 短期大学部	株式会社東急百貨店	平成 26 年 3 月	「体の中から健康、美しく」をテーマに、現在と未来の健康に貢献していくことを目的としており、栄養学に基づいたレシピやメニューの開発、講習会の実施など、相互に協力し、提供。
業務委託	栄養学部	全国農業協同組合中央会 (JA 全中)	平成 26 年 4 月	同会の運営する「農業・農村ギャラリー」における、国産農畜産物を使用した弁当メニューの開発。
地域連携協定	栄養学部 短期大学部	毛呂山町	平成 26 年 6 月	相互協力のもとに教育、文化、スポーツ、産業、地域振興や環境の保全、安心安全なまちづくり、人材育成にと幅広い分野でお互いに協力し、地域社会の形成と発展に寄与することを目的とする。町特産の『桂木ゆず』を使用したレシピ集制作 (H28)
人材育成及び研究協力に関する協定	大学院	国立保健医療科学院	平成 26 年 6 月	科学院の研究官を本学大学院客員教授として委嘱し、大学院の授業を担当すること、大学院生の研究指導を科学院で実施し、大学院客員教授として科学院の研究官が研究指導を行う他、相互の研究・教育に関する協力を積極的に行う。
大規模災害発生時における施設の一時使用	栄養学部	西入間警察署	平成 26 年 7 月	大規模災害が発生した際、同警察署庁舎での業務の遂行と庁舎機能の維持が困難と判断とされた場合、本学が所有する施設の一部を災害活動等の拠点として使用することを定めたものであり、災害対策等を遅滞なく推進することとなる。

産官学連携等

連携協力に関する包括協定	栄養学部	21 胚芽精米推進協議会	平成 26 年 11 月	胚芽精米の開発と需要喚起、消費促進に関する連携
--------------	------	--------------	--------------	-------------------------

産学連携包括協力に関する協定	栄養学部	株式会社フジマック	平成 26 年 11 月	同社製品における「調理マニュアル」・「省エネ」・「労務改善」等での相互協力により、社会への貢献を目指す。
包括的な連携	栄養学部	神川町	平成 27 年 1 月	栄養学のノウハウや学生の発送を、同町の子供たちの健全な成長に不可欠な食育施策などに生かしていく。 「梨レシピ」コンテスト審査員として参加(H27)。「コスモスまつり」に出展協力(H28)。
包括的な連携	栄養学部	鳩山町	平成 27 年 2 月	これまでの「食に関する健康づくり事業」等の活動を踏まえ、今後、地域活性化、産業振興、教育、文化等に関しても広くより効果的な事業を展開していく。町特産黒大豆を使用した「鳩豆うどん」のメニュー開発(H28)。
健康管理に関する連携協定	栄養学部	三光建設株式会社	平成 27 年 3 月	「社員及び協力業者の食生活指導」・「社員の家族への食生活指導」・「建設現場での身体活動量の調査」・「勤務中の食環境を調査し、課題に応じての改善策の提案」等を行うことを柱とし、労働意欲の向上と地域社会への貢献を目的とした活動を行う。
産学連携包括協力に関する協定	栄養学部	生活協同組合連合会 コープネット事業連合	平成 27 年 6 月	「健康」をテーマとした惣菜商品の開発とあわせ、会員生協での活動や食育コミュニケーションでの社会的発信の強化を目的とする。

産官学連携等

産学連携包括協力に関する協定	大学院	キリン株式会社	平成 27 年 7 月	相互の情報や知見に基づいた啓発活動プランや大学院との共同研究テーマを定めるなど、「食を通じた健康寿命の延伸」につながる活動を展開し、人々の生活の質の向上と健康を支える社会環境の質の向上を目指す。
連携協力に関する包括協定	坂戸カフェテリア	株式会社ウエルフェア	平成 27 年 7 月	埼玉医科大学内のレストランを運営する（株）ウエルフェアと埼玉医科大学と女子栄養大学の三者による包括協定を締結。 埼玉医科大学総合医療センター管理棟の竣工に伴い、「健康レストラン鴨田」をオープンし、同時に本学カフェテリアメニューを導入し、「健康ランチ」を提供。
包括的な連携	栄養学部	埼玉県ときがわ町	平成 27 年 10 月	健康増進や食育のほか、講師派遣、調査、メニュー開発など同大学の得意とする分野について連携し、活動を行う。
研修実施に関する協定	栄養学部	東京都教職員研修センター	平成 28 年 1 月	大学の高度な学術情報や最新の指導理論、優れた施設・設備等の提供により、都内公立学校教員の指導力向上を目的とし、隔年で研修開催の協力。
包括的な連携	栄養学部	埼玉県白岡市	平成 28 年 1 月	「食育の推進」「子育て・教育」「スポーツ推進」「産業振興」等の取り組みについて連携し、取り組みを行う。
包括的な連携	栄養学部	埼玉県川越市	平成 28 年 4 月	「食と健康に関すること」「産業・農業・観光に関すること」「環境に関すること」「人材育成に関すること」等について、相互による取り組みを進める。

産官学連携等

産学連携包括協力に関する協定	栄養学部	西洋フード・コンパス グループ株式会社	平成 28 年 5 月	同社の受託運営する社員食堂提供メニューの監修。社員食堂を通じたり利用者の健康管理を行うとともに、栄養管理の研究を行い、人々の健康の維持・増進に貢献する。
産学連携包括協力に関する協定	栄養学部	埼玉県信用金庫・ (一社)さいしんコラ ボ産学官	平成 28 年 7 月	相互に協力し、本学の研究シーズや研究成果等を地域社会へ円滑に還元するとともに、地域社会のニーズに応え、地域経済の活性化に貢献することを目的とする。

包括的な連携	栄養学部	栃木県市貝町	平成 28 年 10 月	「加齢と食生活」「発達と栄養」「食品開発」等の取り組みについて連携し、活動を行う。
産学連携包括協力に関する協定	栄養学部	カネテツデリカフー ズ株式会社	平成 29 年 2 月	「健康」をテーマとしたメニュー型商品の開発・提供を行う。
包括的な連携	栄養学部	埼玉県春日部市	平成 29 年 3 月	「食と栄養」に着目した健康づくり事業を展開し、より一層の市民の健康増進を図ることを目的とする。
産学連携包括協力に関する協定	栄養学部	全国きな粉工業会	平成 29 年 4 月	日本の伝統食品であるきな粉の消費拡大を目的とし、きな粉を使ったメニューの共同開発や食べ方の提案、機能性の側面についても研究等を行う。

産官学連携等

埼玉県民の健康づくりの推進に向けた包括的連携	栄養学部	全国健康保険協会 埼玉支部	平成 29 年 4 月	栄養学に基づいた食に関する知識を協会けんぽの健康経営・健康づくりの推進の取り組みに取り入れ、加入者の食事改善に生かし、疾病リスクの改善指導に役立てて、健康増進と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。
包括的な連携	栄養学部	埼玉県ふじみ野市	平成 29 年 4 月	「食と健康に関する事項」「子育て及び福祉に関する事項」「教育、文化、スポーツ及び生涯学習に関する事項」「農業、商工業及び観光に関する事項」「人材育成に関する事項」「その他、目的を達成するために両者が必要と認める事項」等について、取り組みを進める。
包括的な連携	栄養学部	東京都武蔵村山市	平成 29 年 8 月	「食と健康、福祉に関すること」・「子育て及び教育に関すること」・「文化、スポーツ及び生涯学習に関すること」・「農商工業、観光及び環境に関すること」・「人材育成及び学術振興に関すること」・「その他目的を達成するために必要な事項」について、今後両者により取組を進める。 市内温浴施設「かたくりの湯」のリニューアルに際し、施設内レストランのメニューを監修。
包括的な連携	栄養学部	埼玉県三芳町	平成 29 年 10 月	「みよし野菜」のブランド化を含め、地域農産物を活用した連携事業や食と健康、教育に関する人的支援等を実施する。
産学連携包括協力に関する協定	栄養学部 短期大学部	あみ印食品工業 株式会社	平成 29 年 11 月	両者により「食の安全と健康を支える商品作り」を強化することを目的とする。 同社の製造・販売する野菜だし「葉酸生活」を監修。

産官学連携等

包括的な連携	栄養学部 専門学校	(北海道) 十勝総合振興局	平成 30 年 3 月	北海道十勝地域の活性化に向け、「食の生産現場における人材育成の推進」・「十勝産食材の利活用促進」・「十勝産食材や十勝観光に係る情報発信」等について、相互に連携・協力しながら協働事業を進める。
産学連携包括協力に関する協定	大学院 栄養学部	ウエルシア薬局 株式会社	平成 30 年 6 月	「健康」・「食」・「栄養」に関する事項を基本とし、同社に在籍する管理栄養士を対象とした「教育プログラム」の新規導入により、社会ニーズへの対応を強化するとともに、相互の情報交換を通じて、産業や社会の発展に貢献することを目的とする。